

令和6年3月実施

職員15名 回収率100パーセント

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	2	0	・広さは妥当だが構造化が必要。 ・今年は事務所の配置を変えて作業効率が上がった。
	2	職員の配置数は適切であるか	11	4	0	他害がある児童等、担当時間を決めて工夫している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	5	0	設備に問題がでた場合、都度相談改善を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	10	0	・職員会議で情報共有や振り返りをする。 ・ファイルにまとめて見える化や重要なことは全体で回覧している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	4	0	評価に対して全職員の周知と対応をしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	3	0	事業所ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	6	2	第三者機関の外部評価はないが、相談支援事業所の訪問時に意見を伺うなど風通しの良い環境を心がけている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	7	0	定期的な研修を行っている。県や地域の連絡協議会開催の研修にも積極的に職員を参加させている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14	1	0	更新の際、達成できそうな目標を設定。子供が頑張っている点をフォローする内容にしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	4	0	標準化したアセスメントツールに従っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	6	1	ほぼ2名で行っている。立案会議に参加できない人、参加できても案を出せる人とそうでない人の差が大きい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14	1	0	療育の本を活用している。その日の子供のメンバーにより内容を合わせる工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12	3	0	・個別療育で成長をしている子が集団に入れるようになったケースもある。 ・飽きないように戸外活動などを取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	4	1	現時点ではコミュニケーションや社会性の療育を希望しているお子さんが多く、個別療育の希望はないが、個々の活動時は個別の視点で関わっている。

15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	9	1	積極的に打ち合わせをする職員と発信が薄い職員がいる。人手不足で時間が足りないことがある。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	9	1	問題意識をもって積極的に対話をする職員とそうでない職員の差がある。人手不足で時間が足りないことがある。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・単にできた、できないだけでなく、身体の細かい動きや積極性まで記録してPDCAで回している。 ・保護者への連絡帳とその日の様子を日誌に記録し、振り返りや情報共有を行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	4	0	・モニタリングにもよく参加している。子供の成長に応じその都度話し合っている。 ・定期的なモニタリングを実施している。それに基づいた計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	9	6	0	内容が偏らないようにしている。いつも活動は2以上行っている。自立支援、コミュニケーション、余暇の提供など放課後デイの目的に沿った支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	3	0	担当者会議には児童発達管理責任者もしくはクラスリーダーが参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	5	0	・送迎時に行ったり、ケースによっては管理者が直接連絡して学校と情報共有を行っている。 ・毎週、学校の予定プリントを保護者からもらい、下校時間や予定などを確認している。保護者が忘れてしまわれることもあり、催促をさせていただいている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	8	1	・医ケア児はいない医療にかかっている児童の主治医の連絡先は把握している。 ・現時点では該当者がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	8	1	・相談支援事業所を通じて行っている。 ・保護者の依頼があれば対応している。情報共有は積極的に実施している。必要があれば児童発達管理責任者から関係機関への連絡を保護者の了解をへている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	7	0	まだ放課後等デイサービスから福祉サービスへ移行したケースはないが今後相談支援事業所などを通じて切れ目のない支援ができるように連携をしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	7	1	積極的に行政からの情報発信をキャッチし、研修や会議、勉強会に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	7	公園に行っている。ルールを決めてトラブル防止をしている。土曜日クラスは児童館に行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	6	1	センター内の相談支援事業所を通じて参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	3	0	保護者との連絡はHUGアプリや電話で連絡共有をしている。
保護者	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	7	2	・思春期のお子さんに行うことが多い。 ・保護者も何かしら抱えているケースでも心を開いて話せるように、管理者や児発管が上手にやっているとと思う。電話も多い。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	3	0	契約時に丁寧な説明を心がけている。

への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	2	0	保護者からの電話やHUGでの相談にはこまめな対応を心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	4	0	保護者同士が参加してプチセミナーや茶話会、給食の試食など実施した。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	0	0	・苦情解決体制を構築している。 ・パートの私にもすぐに情報が共有されるので迅速な対応ができていると思う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	2	0	毎月、お便りと活動プログラムを配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	13	2	0	個人情報使用同意書を得て、写真などの掲載を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	2	0	見通しがもてるように、事業所での変更などがある場合には事前に保護者や本人に伝えるなどして、不安にならないよう配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	5	7	管理者がこの地域の相談支援業務をしているので地域には知られているのではないかと思う。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	13	1	1	感染対応マニュアル以外のマニュアルの周知が徹底されていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	3	0	避難確保計画に基づく定期的な訓練は実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	3	0	研修が充実している。大変なことも職員同士が仲良く話をしている様子がある。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	14	1	0	・研修が充実していて、知らなかったことも学ぶことができた。 ・児童発達管理責任者が拘束を減らすことに積極的。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	1	0	おやつ時の対応、緊急時の対応など個別の情報は読んだり、聞いたりして情報を共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	3	0	ヒヤリハットを作成し、職員間で共有している。